

福中を誇りに思うことのできる学校づくり

－ 地域の人たちと共に進め、実践する活動を通して －

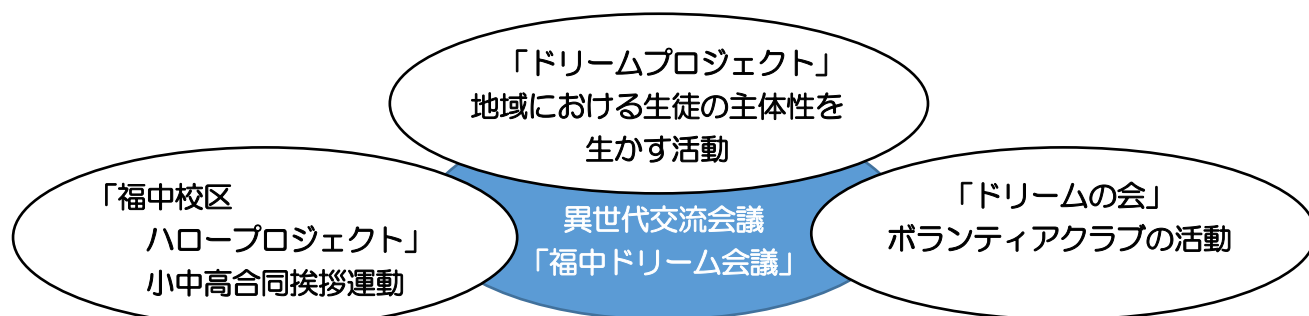
田原市立福江中学校

1 実践のねらい

- (1) 「福中ドリーム会議」で、地域の異世代の人たちと生徒が意見交換する場をもち、地域のためになる活動や地域の人たちと一緒に進める活動に取り組むことで、地域や学校に誇りをもてるようにする。
- (2) 地域清掃活動、資源回収、挨拶運動、ボランティア活動など、地域で活動する取り組みを積極的に実施することで、人間性豊かな実践力のある生徒を育成する。
以上の取り組みを進めることで、「自分たちが住む地域、自分たちが学ぶ学校を誇りに思うことができる生徒」を目指す。

2 実践の内容

実践の柱として、以下の3つの取り組みを行った。そして、それぞれの活動の計画の段階に異世代交流会議「福中ドリーム会議」を位置付け、地域の人たちと共に活動を進めていった。



(1) ドリームプロジェクト「サンキュー☆福江」

地域への所属感や愛着を深めることを目的として、全校縦割り班（出身小学校別）で地域奉仕活動「サンキュー☆福江」を行っている。本年度は、地域との関わりを深めることができるように、計画の段階で、「福中ドリーム会議」を開き、4つの小学校区の校区会長さんと各班のリーダーが、活動場所や内容について意見交換をする場を設けた。



校区会長と意見交換する各班のリーダー

「福中ドリーム会議」後の生徒の感想

私たちの住んでいる地域と一緒にきれいにしていこうという思いを感じることができました。これからやる「サンキュー☆福江」に、大きな意味を見付けることができた会議でした。今後もこのように地域の方の声を聞いて、福江中学校区が、活性化できるように努めていきたいと感じました。

活動当日は、18グループに分かれて、校区内15箇所のごみ拾いや草取りを行った。地域の人から出た要望をもとに、生徒は精力的に清掃活動を行った。事前に地域の人と話し合う機会をもったことで、地域に対する人々の思いがよく分かり、地域のために働きたいという意識の向上が見られた。



清掃活動でフェンスの蔦を取る生徒

(2) ドリームプロジェクト「親子クリーン作戦」



PTA役員と資源回収の収集場所を検討

地域の人と協力し、通学団単位で各地区の資源回収「親子クリーン作戦」を行った。事前に「福中ドリーム会議」で、PTA役員と通学団の団長・副団長が、収集場所、収集・運搬方法について意見交換を行った。当日は、自転車や一輪車、リヤカーなどを使い、地域の狭い路地まで入って回収をする姿が見られた。



「親子クリーン作戦」の様子

(3) ハロープロジェクト「小中高合同挨拶運動」

生徒会役員と「ハロメン」と呼ばれる挨拶運動推進生徒が各小学校区に出かけ、小学生・高校生と共に、挨拶運動を行った。活動の前には、生徒会役員が各小学校と高校を訪れ、合同挨拶運動の趣旨や実施の仕方について、「福中ドリーム会議」を開き、話し合いを行った。

福江小学校区の国道交差点で行われた挨拶運動は、小・中・高校生に加え、高校の先生や地域の保護司さんの参加もあり、活気のある活動になった。このプロジェクトが始まって3年目になるが、毎年着実に挨拶の輪が広がっている。

(4) ドリームの家

「ドリームの家」は、ボランティア精神を育むこと、地域との絆を深めることを目的に、地域でボランティア活動を行うクラブである。昨年、結成10年を迎え、地域からも頼りにされる存在になっている。会員は、全校生徒から募集し、希望者が自主的に参加している。本年度の会員は、195名にのぼり、全校生徒350名のうちの約65%が在籍していることになる。

会員は、部活動が行われない休日を生かして、高齢者福祉施設「渥美福寿園」「花の里」での活動、まちづくり協議会の「校区クリーンアップ作戦」、環境ボランティアグループ「亀の子隊」の活動などに参加している。この他に、「ロビーコンサート」「禅のつどい」「校区祭り」といった地域の行事でのボランティア活動や、「福祉の集い」「あつみNPOネットワークの集い」でのバザーや発表などに参加している。この活動は、本校と地域を結ぶ大きな役割を担っている。

3 実践の成果や課題

「地域のおばあちゃんに『ありがとね。おかげで助かったよ』と言われて、すごくうれしかったです。福江のことが今まで以上に好きになった気がします。」これは、「サンキュー☆福江」を行った後の生徒の感想である。行事を通して地域に出ること、地域のために活動すること、そして、地域の人と一緒に考える機会を設けたことで、生徒は地域に愛着や誇りをもつようになってきている。今後は、実践を継続していく中で、生徒の参画意識や有用感・達成感をさらに高めるための工夫をし、自信をもって主体的に行動する生徒を育成していきたいと考える。



地域に挨拶の輪を広げよう



毎月行っている「クリーンアップ作戦」